

50戸連たん制度について

○ 概要

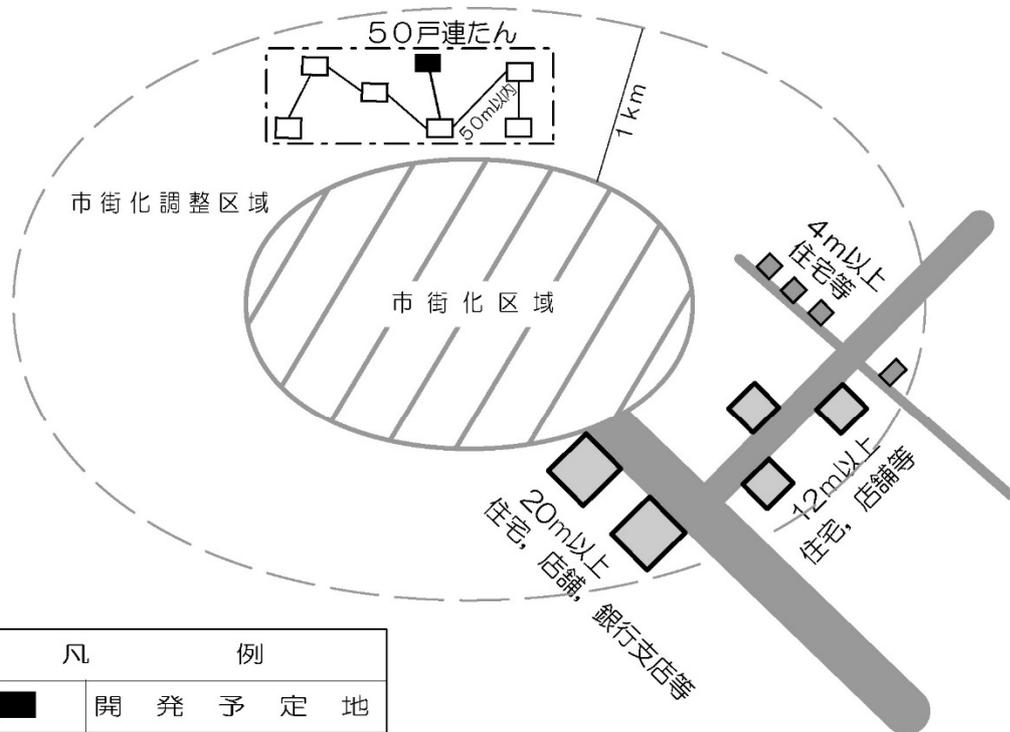
市街化調整区域における建築物の建築等の許可制度であり、市街化区域に隣近接し、市街化区域と一体的な日常生活圏を構成している地域であって、50以上の建築物が連たんしている地域のうち、本市の条例で規定する基準に適合する区域において、住宅、共同住宅、店舗等の建築物を許可する制度

- 条例 「福山市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例」
2001年(平成13年) 7月1日施行

○ 主な基準

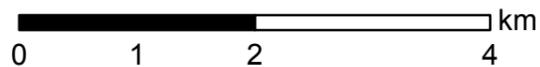
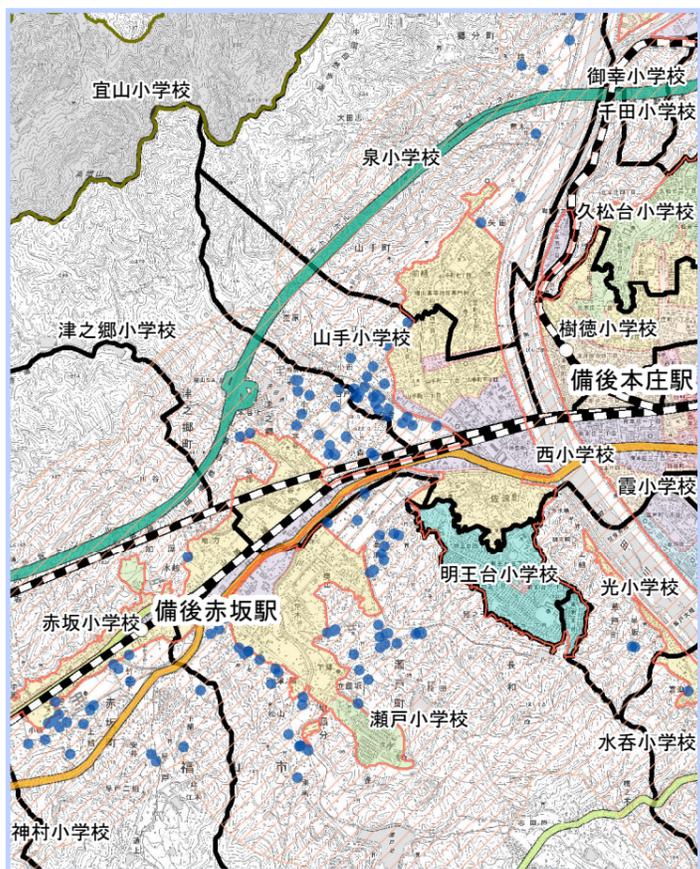
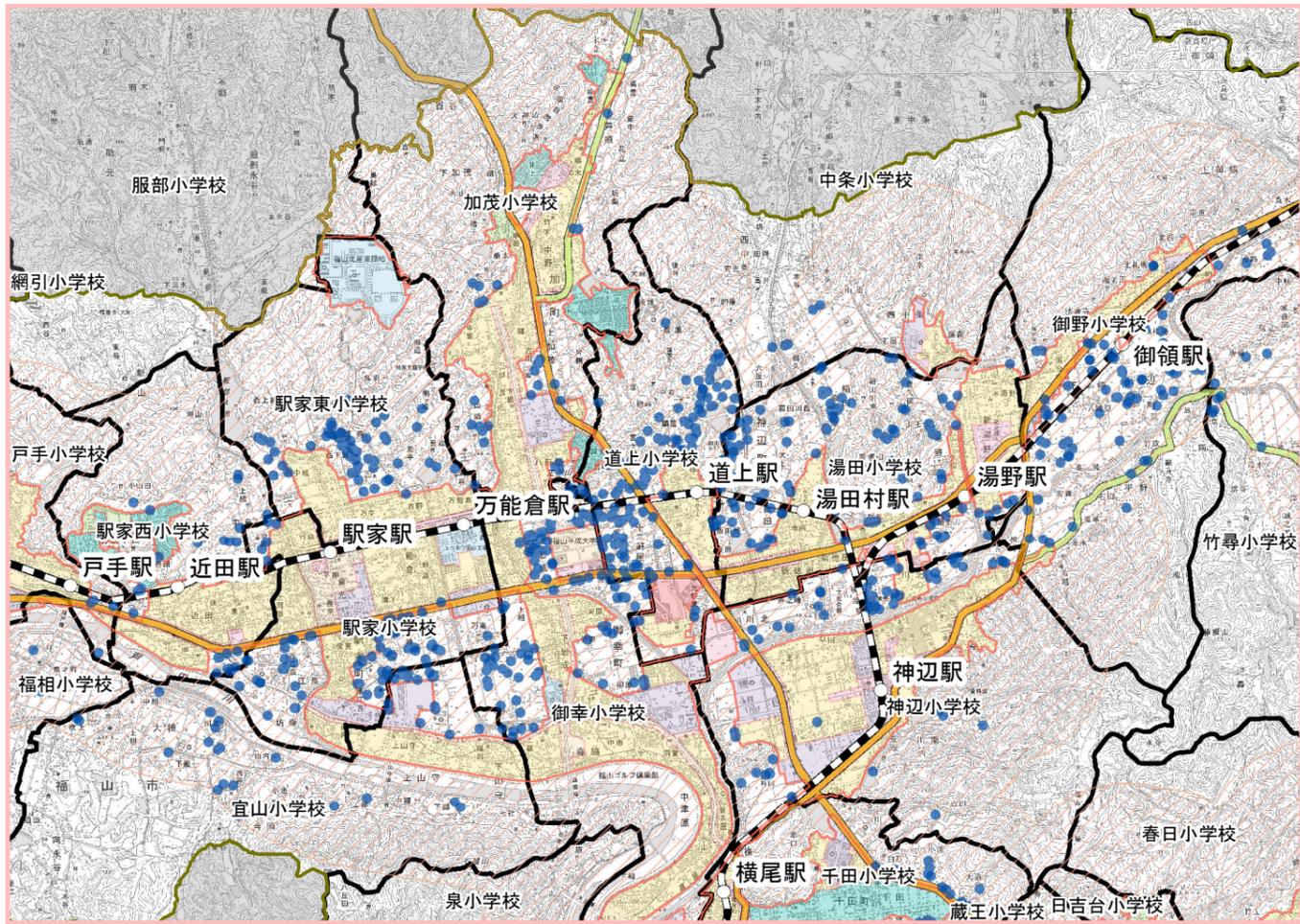
- 市街化区域から1km以内
- 市街化区域と小学校通学区域が同じ
- 7ヘクタールの区域内に敷地面積50m以内で50以上の建築物が連たん
- 幅員4m以上の道路に接する
- 災害危険区域、農用地等に入っていない

条例の基準イメージ



道路幅員と建築物用途のイメージ

50戸連たん制度による建築・開発許可プロット図



凡例

- 建築
- 開発
- ▨ 市街化区域から1km区域
- 都市計画区域外
- ▭ 市街化調整区域
- ▭ 福山市域
- 鉄道
- 高速自動車道
- 一般国道
- 主要地方道

